

コラムを読み解く(中学・国語)

()中学校()年()組 氏名()

南風録 宇検村の船越海岸にある慰霊碑前には、青い海が広がっていた。碑には「對馬丸 受難のみ魂ら とこしえに 祭りつたえむ 船越しの浜」と刻まれている▼太平洋戦争中の1944年8月22日の深夜、沖縄発の学童疎開船「對馬丸」は米潜水艦の魚雷攻撃を受け沈没した。判明しているだけで0～15歳の1040人を含む1484人が亡くなり、船越海岸には多くの遺体が流れ着いた▼先の歌を詠んだ大島安徳さんら地元住民は、埋葬や生存者の救助に尽力したが、旧日本軍は事件の口外を厳しく禁じた。宇検村誌は、その影響で「歴史の中に消えようとしていた」と記す▼碑は、過ちを繰り返してはならないと、地元が中心となって2017年に建立した。一方で、体験を語り継いできた大島さんは今年2月に98歳で亡くなり、沖縄でも当時の生存者は少なくなっている▼先日、宇検村で對馬丸事件の継承について考えるワークショップが開かれた。参加した沖縄、奄美の小中学生らは悲劇を見つめ、「戦争の怖さを語り継ぐ」「忘れないよう繰り返し学ぶ」などの目標を掲げていた▼子どもたちの未来や継承に尽力した先人たちのためにも、人間社会の中にある残虐性に目を背けてはいけない。事件を繰り返さないためにはどうすればいいかを、何度も話し合っていた。碑の下に打ち寄せる波のように、いつまでもいつまでも。

2025年8月22日付1面

【問1】「對馬丸 受難のみ魂ら とこしえに 祭りつたえむ 船越しの浜」と刻まれた慰霊碑はどこにありますか。

(宇検村の船越海岸)

【問2】1の歌を詠んだのは誰ですか。

(大島安徳さん)

【問3】碑は、いつ建立されましたか。

(2017年)

【問4】どのような事件があったのですか。

(太平洋戦争中の1944年8月22日の深夜、沖縄発の学童疎開船「對馬丸」が米潜水艦の魚雷攻撃を受け沈没し、判明しているだけで0～15歳の1040人を含む1484人が亡くなった。)

【問5】「事件を繰り返さないためにはどうすればいいか」、あなたの考えを書きましょう。

* 習っていない漢字とむずかしい言葉

宇検村(う・けん・そん)＝奄美大島南部の自治体。 慰霊碑(い・れい・ひ)＝死者の靈魂を慰めるために建てた碑。

学童疎開(が・どう・そ・かい)＝太平洋戦争末期に戦争の災禍(さい・か)を避けるため大都市の国民学校児童を、農山村地域に移動させたこと。 對馬丸(つ・しま・まる)、潜水艦(せん・すい・かん)、魚雷攻撃(ぎょらいこうげき)

遺体(い・たい)、詠(よ)んだ、埋葬(まい・そう)＝死んだ人の体や骨を地中に埋めて葬(ほうむ)ること。

生存者(せい・ぞん・しゃ)、尽力(じんりょく)＝ほかの人のために力を尽くすこと。

口外(こう・がい)を禁じる＝(知られては困ることなどを)人にしゃべることを禁じる。厳(きび)しく、宇検村誌(し)、過(あやまち)＝失敗、しくじり、過失。繰(くり)返す語り継(つ)いで、継承(けい・しょう)＝身分や財産、仕事などを受け継ぐこと。

奄美(あま・み)、悲劇(ひ・げき)

残虐性(ざん・ぎゃく・せい)＝そこない、しいたげる傾向、性質。

怖(こわ)さ、忘(わす)れ、掲(かか)げ

